

シラバス / Syllabus

• プログラム名	VND (Viet Nhat Discovery) プログラム
• 担当教員	筒井 久美子 (e-mail: ktsutsui@apu.ac.jp / 研究室 B 棟 420 / オフィスアワー:月曜 2 限オンライン)
• 実習地	日本
• 開講年度	2021 年度
• 成績付与 セメスター	2021 年度 秋セメスター
• 科目	特殊講義(共通教養科目)
• 開講言語	• 日本語 <i>[実習で使用する場合があります]</i> • ベトナム語 • (英語)
• 単位数	2 単位 -セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。
• プログラム概要	本オンラインプログラムは、海外インターンシッププログラム SEND の意志を受け継ぎ、ベトナムの日本語学習者と協働し、自身の文化と他者に対する理解を深め、日本と他国の架け橋となる人材育成を目指す。新型コロナウィルスの感染拡大で、多くの海外プログラムが中止となり、国際的な交流が閉ざされている。本プログラムでは、限られたリソースを駆使し、どのように学びや国際交流を継続させることができるのか模索する。受講生はベトナムの大学生とのディスカッションを通し、異文化理解を深め、グローバルな関係を構築し、自分自身の目標と成長につなげることが求められる。
• プログラムの ねらい	(1) ベトナムの日本語学習者と生活習慣や社会問題について話し合い、発表に向けて協力することにより、友好関係を構築する。 (2) 日本語学習者の文化的背景に対する学びを深め、異文化理解と異文化コミュニケーション能力を向上させる。 (3) 日本語学習者とのディスカッションを通して内省的な考察を行い、他者と自己および他文化と自文化に対する理解を深める。 (4) 授業やベトナムの学生とのディスカッションやグループワークを通して、目標設定と伸ばしたい能力、それに繋がる具体的な行動について考え、将来の目標設定や具体的な活動に繋げる。
• 履修の目安	● 日本語を母語とする者。 ● 授業に全て出席できる者。 ● ベトナムや外国人日本語学習者に興味がある者。 ● 申請時点で第 1 セメスターから第 7 セメスター生（卒業該当セメ生は不可） ● 責任を持って活動ができる者。 ● プログラムの趣旨・目的を理解し授業とオンライン活動に対して真摯に励む者。 ● 異文化を受け入れ、理解を深めながら能動的に他者と関わることができる者。

到達目標	1. 学びの目標や自己成長の目標を立て、国際的な交流が制限されるなかで何ができるかを考え、それらを達成する。（自己成長） 2. 日本語学習者、もしくは日本に興味のある人が対面的交流が閉ざされる中で何を必要としているのか、もしくは何を欲しているのかを見つけ、自分がどのように人の役に立つことができるのかを考え、行動することができる。（貢献力） 3. 異文化間コミュニケーション能力を培い、ベトナムの日本語学習者とのディスカッションやグループワークで応用することができる。（異文化間コミュニケーション能力） 4. チームで協力して、本プログラムの目標を達成できるよう働きかけることができる。（チームワーク） 5. ベトナムの大学生とディスカッションやグループワークで交流し、関係を構築することができる。（グローバルな人間関係） 6. 失敗を恐れず積極的に情報を収集・発信し、準備・行動・実践することができる。（挑戦意欲・主体性）
授業方法	グループディスカッション・グループプロジェクト：HaUI（ハノイ工業大学）の学生と APU 生の混成グループを組みグループプロジェクトを実施する。なおグループ数および 1 グループあたりの人数は参加人数によって変動する。 [授業] 本プログラムの目的を達成するために、自分たちは何ができるのか考えると同時に、日本語学習者が何を求めているのか検証するためにアンケート調査を行う。そして、どのような人を対象に何ができるのか企画する。また、本プログラムを通して自己成長を促進するために、自分の伸ばしたい能力を明確にし、目標を設定する。 [グループディスカッション・グループワーク] グループディスカッションとグループワークについて、内省的な考察を行う。他者と自己に対する理解を深め、自分の活動を振り返り自己成長につなげる。また、他の学生のリフレクティブジャーナルを読み、コメントすることにより、お互いの学びを共有し、支え合い、高め合う「学びのコミュニティー」を形成する。 [振り返り] 授業を通しての学びや葛藤、どのように能力を伸ばしたのかについて共有することにより、それぞれの経験を今後どう使い、伝え、活かしていくのか話し合い、次への挑戦につなげる。 [課題] • ルーブリック課題①～④ ➢ 自分の伸ばしたい能力を明確にしたうえで目標を設定し、それを達成できたかどうか評価する。 • リフレクティブジャーナル&コメント ➢ HaUI 生とのディスカッションやグループワークに関する振り返りを書く。また、他の学生（1 回につき少なくとも 2 人）の振り返りを読んでコメントを書く。 • グループワーク ➢ 調査レポート ➢ 発表スライド • 事後レポート

	➤ プログラム全体を振り返り、学んだことを今後につなげる。 [多文化協働学修に関する環境と手法] 事前授業および事後授業では、ペアやグループになってディスカッションやプレゼンテーションをする機会がある。グループ発表では、グループで一丸となりそれぞれが責任を持って取り組むことが求められる。																																		
• スケジュール	[授業] 4 限：14:20~16:00（日本時間）：12:20~14:00（ベトナム時間） 5 限：16:10~17:50（日本時間）：14:10~15:50（ベトナム時間） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>日時</th><th>授業内容</th><th>課題 (全て manaba 提出)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>12/22 (水) 4 限</td><td> - アイスブレイキング - 授業概要の説明 「グローバルな人間関係」について - APU ルーブリックについて </td><td> - ルーブリック課題① & ② </td></tr> <tr> <td>2</td><td>12/22 (水) 5 限</td><td> - 個人の目標設定 - このプログラムを通して何がしたいのか、できるのかについてのブレインストーミング - 異文化間コミュニケーション I：文化 </td><td> - アンケート提出 (HaUI の学生：APU 生から知りたいこと；APU の学生：HaUI 生から知りたいこと) </td></tr> <tr> <td>3</td><td>1/12 (水) 4 限</td><td> - 異文化間コミュニケーション II：言語と非言語 - HaUI 生を迎える準備 </td><td></td></tr> <tr> <td>4</td><td>1/12 (水) 5 限</td><td> - HaUI 生と顔合わせ - BR①：自己紹介 - BR②：出身地について - アンケート結果の発表とラウンドテーブルの担当割り当て </td><td> - ルーブリック課題③ - リフレクティブジャーナル①：HaUI 生との交流について - 調査（翌週のラウンドテーブル） </td></tr> <tr> <td>5</td><td>1/19 (水) 4 限</td><td> - ラウンドテーブルディスカッションの準備（テーマに対する調査と発表準備） </td><td></td></tr> <tr> <td>6</td><td>1/19 (水) 5 限</td><td> - HaUI 生とラウンドテーブルディスカッション 「グループ発表」についての説明 </td><td> - リフレクティブジャーナル②：調査・ディスカッションについて </td></tr> <tr> <td>7</td><td>1/26 (水) 4 限</td><td> - ベトナムにおける日本語教育の現状と課題（1）：現状と問 </td><td></td></tr> </tbody> </table>				日時	授業内容	課題 (全て manaba 提出)	1	12/22 (水) 4 限	- アイスブレイキング - 授業概要の説明 「グローバルな人間関係」について - APU ルーブリックについて	ルーブリック課題① & ②	2	12/22 (水) 5 限	- 個人の目標設定 - このプログラムを通して何がしたいのか、できるのかについてのブレインストーミング - 異文化間コミュニケーション I：文化	アンケート提出 (HaUI の学生：APU 生から知りたいこと；APU の学生：HaUI 生から知りたいこと)	3	1/12 (水) 4 限	- 異文化間コミュニケーション II：言語と非言語 - HaUI 生を迎える準備		4	1/12 (水) 5 限	- HaUI 生と顔合わせ - BR①：自己紹介 - BR②：出身地について - アンケート結果の発表とラウンドテーブルの担当割り当て	- ルーブリック課題③ - リフレクティブジャーナル①：HaUI 生との交流について - 調査（翌週のラウンドテーブル）	5	1/19 (水) 4 限	ラウンドテーブルディスカッションの準備（テーマに対する調査と発表準備）		6	1/19 (水) 5 限	- HaUI 生とラウンドテーブルディスカッション 「グループ発表」についての説明	リフレクティブジャーナル②：調査・ディスカッションについて	7	1/26 (水) 4 限	ベトナムにおける日本語教育の現状と課題（1）：現状と問	
	日時	授業内容	課題 (全て manaba 提出)																																
1	12/22 (水) 4 限	- アイスブレイキング - 授業概要の説明 「グローバルな人間関係」について - APU ルーブリックについて	ルーブリック課題① & ②																																
2	12/22 (水) 5 限	- 個人の目標設定 - このプログラムを通して何がしたいのか、できるのかについてのブレインストーミング - 異文化間コミュニケーション I：文化	アンケート提出 (HaUI の学生：APU 生から知りたいこと；APU の学生：HaUI 生から知りたいこと)																																
3	1/12 (水) 4 限	- 異文化間コミュニケーション II：言語と非言語 - HaUI 生を迎える準備																																	
4	1/12 (水) 5 限	- HaUI 生と顔合わせ - BR①：自己紹介 - BR②：出身地について - アンケート結果の発表とラウンドテーブルの担当割り当て	- ルーブリック課題③ - リフレクティブジャーナル①：HaUI 生との交流について - 調査（翌週のラウンドテーブル）																																
5	1/19 (水) 4 限	ラウンドテーブルディスカッションの準備（テーマに対する調査と発表準備）																																	
6	1/19 (水) 5 限	- HaUI 生とラウンドテーブルディスカッション 「グループ発表」についての説明	リフレクティブジャーナル②：調査・ディスカッションについて																																
7	1/26 (水) 4 限	ベトナムにおける日本語教育の現状と課題（1）：現状と問																																	

		題提起	
	8	1/26 (水) 5 限	• テーマとグループ決め • チームビルディング • リフレクティブジャーナル③:チームビルディングについて
	9	2/16 (水) 4 限	• ベトナムにおける日本語教育の現状と課題 (2): 学生という立場で何ができるか
	10	2/16 (水) 5 限	• チームビルディング • HaUI 生とグループ発表準備 • グループコンサルテーション • リフレクティブジャーナル④: グループ発表準備について
	11	2/23 (水) 4 限	• グループ発表準備 • グループコンサルテーション • メンバーの相互評価
	12	3/2 (水) 4 限	• グループ発表・ディスカッション
	13	3/2 (水) 5 限	• グループ発表・ディスカッション • グループ振り返り
	14	3/3 (木) 4 限	• APU 生: 振り返り • ルーブリック課題④ • 事後アンケート • 事後レポート
「ベトナムの日本語学習者とのディスカッション」の協力校			
• HaUI: Hanoi University of Industry (ハノイ工業大学) • HaUI 生参加日: 1/12 (5 限)、1/19 (5 限)、1/26 (5 限)、2/16 (5 限)、2/23 (4 限)、3/2 (4 限、5 限) • ラウンドテーブル: ベトナムと日本について興味があることについて互いに調査し発表する。発表後、簡単な質疑応答を含む。 • グループ発表: 1. テーマ(食生活、ライフスタイル、教育、宗教、政治など)を決める。 2. 興味のあるテーマもとにグループを作成する。 3. トピックを決め調査する 4. 調査の過程で浮かび上がった気づきや課題、問題点について話し合う。 5. 調査結果をまとめ、発表する。 6. 発表後、発表者から質問を投げかけ、オーディエンスは BR に分かれて話し合う。 7. BR で話し合った内容を発表しあう。			
• 成績評価方法			
		授業への参加度	10%
		ラウンドテーブルのリサーチ	5%
		リフレクティブジャーナル(コメントを含む)	25%
		グループワーク(調査・グループ発表・スライド等)	30%

	事後レポート（個人目標やコンピテンシーの達成度、グローバルな人間関係について） 20% アンケート・その他の提出物（APU ルーブリック、事後アンケート等） 10%
学生への要望事項	- すべての授業に出席すること。やむを得ず授業を欠席・遅刻する場合（減点）は、必ず事前に教員、アカデミック・オフィスに連絡すること。TOEFL や TOEIC の受験等は、授業を欠席・遅刻する理由として認めないので、計画的におこなうこと。 - 授業を通じて、HaUI 生と友情を育み、理解を深めてほしい。柔軟な態度と広い心を持って交流に励み、学んだことをこれから自分が歩いてゆく人生の指針に加えられるよう、積極的に責任を持って行動してほしい。
教科書	参考資料はオンラインで配布します。
参考文献	
上記以外	
その他	- 募集人数: 24 - 最少実施人数: 12